



【圓岡 伸夫 議員】

同和事業の終結は？

町長

今後も積極的に推進する

【圓岡】33年にわたって実施されてきた同和地区を対象とした特別措置法が、平成14年末に終了した。

本町でも、関係する事業を終結や一般施策に移行するよう、10年プランの中に盛り込むべきではないか。

【町長】県が策定した「今後の同和対策のあり方」の中には、特別措置法を根拠としたものから、地域の実情と課題に対応した部落差別の実態を根拠とする同和行政を推進しなければならぬ。差別がある限り、同和問題の解決のために、必要な施策には適切に対応し、今後も同和行政を積極的に推進すると書いてある。

町も同じ考えである。【教育委員長】差別事象は依然発生している。

このような状況では、積極的に推進すべきである。



多くの登山者でにぎわう夏山登山道

宝珠尾根の その後は？

町長

まだ決まっていない

【圓岡】昨年6月議会で、「宝珠尾根の登山道は誰が管理するのか結論に至っていない」と答弁があったが、どうなっているか。

【町長】今年2月に地域協議会が発足し、その中で問題提起をした。引き続き協議をしている。

【圓岡】大山「山頂祭」の日の夏山登山道でのトレイルランは禁止すべきでないか。

【町長】接触事故など問題はあるが、町に禁止する権限はない。

※
トレイルラン
山岳登山道を走って登り降りすること。

集落内の道の拡幅は？

町長

費用面でむずかしい

【圓岡】町内で119番通報しても、救急車が自宅前まで駆けつけることのできる家は多くない。

集落で合意できた道は町道に認定し、緊急車両に対応できるよう、4m以上に拡幅する長期的な展望が必要ではないか。

【町長】集落内の道路は、幅が狭く曲がり角も多いため、緊急車両が入らない箇所があることは承知をしている。

集落内の道路整備は、ブロック塀の移転や用地の取得など、多額の費用がかかるのでむずかしい。



広い集落内道路